

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	学校教育部
部(局)長名	羽間 功

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	学校力の向上
--------	--------

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	学校の組織体制を充実させるとともに、組織マネジメント力の向上を図ります。
---------	--------------------------------------

活動目標
中学校ブロックで「めざす子ども像」や「教員の指導観」を共有し、小中一貫教育を推進します。
教職員研修を充実させ、教職員の資質向上を図ります。
生徒指導体制の充実を図り、子どもが安心して通える学校づくりを目指します。
悩みを持つ子どもや保護者が相談できる機会を保障するとともに、子どもを取り巻く諸課題の解決に向けて「チーム学校」として対応できるよう支援します。
学校に行けない子どもへの支援体制を充実させます。
特別な支援の必要な子どもたちへの支援・指導を充実します。



具体的な取組実績
全ての中学校ブロックでめざす子ども像を掲げるとともに、教員の指導観の共有を図るべく、小中合同研修会を開催しました。 また、小中一貫代表者会において、各中学校ブロックにおける取組の情報共有及び発信に努めました。
管理職・スクールリーダー研修としては、27講座1130名が参加しました。また、教職員研修としては、キャリアステージに応じた研修（66講座1808名）、教育課題別研修（17講座477名）教科・領域別研修（14講座759名）、専門職等研修（10講座212名）、特別支援教育研修（16講座907名）、情報教育研修（30講座360名）合計180講座5653名の教職員の参加がありました。
中学校生徒指導主事・小学校生徒指導担当者会を6回、学警連絡会及び補導連絡会を5回実施したことを通じて、機関連携、小中連携により情報共有の充実、問題事象の未然防止、早期対応に努めました。
来所・電話相談は259日開設し、スクールカウンセラーを全中学校に630回派遣、また、出張教育相談は、全小学校に733回派遣するなど、心理の専門職であるスクールカウンセラーと福祉の専門職であるスクールソーシャルワーカーを学校に置き、連携することでチームとしての学校の総合力・教育力を高める体制を支援しました。
適応指導教室「光の森」「学びの森」とともに、184日間開室し、不登校に関わる情報共有を行うために、40回の学校訪問を行いました。また、「光の森」では15名、「学びの森」では20名、「家庭訪問活動」では1名の児童生徒が活動し、学校復帰支援プログラムに基づいた組織的・継続的な支援を行いました。
全ての学校園に特別支援教育コーディネータ及び校内委員会を置くとともに、研修の充実にも努め、校内体制の活性化を図りました。また、平成27年度は全ての幼稚園・小学校と中学校への巡回相談を行い、発達課題に対する理解を深めるとともに、学校での支援体制の充実に努めております。



平成27年度部長マニフェスト取組結果

達成目標	達成状況	達成度
「吹田市小中一貫教育実施プランⅡ」の取組を、中学校ブロックの状況に応じて実施します。	→ 「吹田市小中一貫教育実施プランⅡ」の重点項目ごとにスケジュールを示し、中学校ブロックごとに取組の焦点化を図って取り組みました。重点項目のうち、特に小中9年間のカリキュラム編成については、2中学校ブロックから7中学校ブロックに大幅に増加しました。	A 達成
全ての教職員が教育センターでの教職員研修講座を3回以上受講します。	→ 教職員研修講座を延べ5653名の教職員が受講し、幼稚園、小・中学校合わせて1778名の本市教職員において1人あたり3.18回の受講となりました。	A 達成
いじめ対策組織を機能させ、いじめの早期発見・早期対応を図り、いじめの100%解消を目指します。	→ 全ての小中学校において「学校いじめ基本方針」を見直し、組織対応の充実を図った結果、今年度のいじめの解消率は小学校で93.7%、中学校で98.6%でした。今後もいじめ解消に向けた取組を推進します。	A 達成
教育相談員やスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、子どもがSOSを発信できる安心・安全な学校を実現します。	→ 来所・電話で計3718回の相談業務、また、SSWの2月末現在の対応人数は、小学校498人、中学校214人の計712人と平成26年度と比べ増加しており、学校教育支援者が学校と密に連携し、安心・安全な学校づくりを推進しております。	A 達成
不登校の子どもへの支援を充実させ、学校復帰を実現します。	→ 平成27年度の正式入室者の学校復帰率は「光の森」で86.7%、「学びの森」で65%、合計74.2%となりました。適応指導教室への定着率は高く、引き続き、保護者・学校と連携しながら学校復帰をめざした支援に努めます。	A 達成
特別支援教育コーディネーターを核とした特別支援教育の体制強化や、巡回相談の実施等により、発達等の課題に対する早期発見・早期対応及び支援の充実を目指します。	→ 今年度も全ての幼稚園・小学校と中学校への巡回相談を実施しました。引き続き、発達課題の早期発見・早期支援ができるように幼稚園から小学校への引き継ぎの充実、そして小学校1年生への全巡回を目指して取り組みます。	A 達成

総合評価・総括

各校において、「いじめ防止基本方針」に基づいた校内指導体制の充実を図ることにより、SCなどがより充実した教育相談を行うことができました。また、小中一貫教育では、「小中一貫教育実施プランⅡ」に基づき、すべての中学校ブロックで授業研究を進め、教職員の指導力向上に努めるとともに、就学前教育との接続を意識したカリキュラム作成に向けて方向性を示すことができました。